

冬季の臨時休業、繰り下げ登校等に係る学校体制について

令和5年12月6日 虹別中学校

基本的な対応として、気象情報や道路状況などから可能な限り、前日に対応していく。
なお、対応は小学校と協議して決定する。

1 当日判断の手順について

- ・午前5時00分に、校長が予報現業室、スノーステーション、標茶道路詰め所、開発局等から情報収集し、除雪の見通しや萩野、中虹、上虹各地区の状況確認（下線部の担当は中学校）を担当保護者に連絡して行い、小学校と協議して、午前5時30分までには決定する。
- ・午前5時40分までに、**小学校教頭が菊地自動車と虹別運送、教育委員会に連絡**する。
※第1報は災害に係る臨時休業等報告書によりFaxで送信する。（小中教頭）
- ・教育委員会に連絡後、「らくらく連絡網」にて教頭が、教職員及び保護者に連絡する。（教頭不在のときは、校長が連絡する。）

2 スクールバスに係る教育委員会への連絡について

以下の状況の場合、管理職が教育委員会に連絡し、随時バス運行会社と情報共有を行う。

- ・スクールバスの乗降者位置が確保されていない場所がある場合
- ・バスの立ち往生や登下校が難しいと判断される場合

3 生徒の安全確保に係る教職員の対応について

- ・通学路ハザードマップを活用し、各学級において、冬季間の通学の安全について改めて指導する。
- ・下校時に吹雪等で道路状況が悪い時にはスクールバスに同乗する。小と中の教頭同士が連絡を取り合い、以下のAパターンかBパターンかを協議して決め、小中同じ体制で教職員が乗車し指導を行う。
*以下のパターンは、小中同時下校の場合であり、バスで帰校するのが小・中どちらかだけのバスの場合は、Aパターンで、小中それぞれが乗車して対応する。
*教職員がバスに乗車する場合は、必ず「スクールバス乗車名簿、住宅配置図」（小・中共通 職員室 生徒指導部長机横）を携帯する。

【Aパターン<比較的、軽度の場合>】

	中虹線	上虹線	萩野線
中学校			
小学校			

*状況によっては、バスに乗車しない教職員が徒歩の生徒に同行する。（判断 管理職）

【Bパターン<虹別在住以外の教職員を一刻も早く帰宅させる事態の場合>】

	中虹線	上虹線	萩野線
中学校			
小学校			

*状況によっては、バスに乗車しない教職員が徒歩の生徒に同行する。（判断 管理職）

- ・臨時休業明けの朝、生徒の登校前に教頭が通学路の確認を行う。歩道の除雪や排雪がなされていない場合には、教職員を配置し、登下校時の生徒の安全を確保する。

登校後学級指導があるため、担任以外を配置する。

- ・悪天候により下校できなくなる場合を想定し、薬等を服用している生徒がいる場合は、1日分の薬を常時携帯させるように指導する。

4 その他

- ・「自宅周辺の除雪状況などの確認と登校判断のお願い」文書を、12月8日（金）に小・中同じ期日で全家庭に配付し、各学級でも担任が生徒に指導する。